

国 外 実 態 調 査 報 告 書

ゼミ名 : 木立 真直ゼミ
訪問先 : タイ王国 Kasetsart University
訪問日時 : 2023 年 9 月 15 日(金)10:00～12:00
ご対応者様 : カセサート大学人文学部日本語学科専任講師 Pitchayapisut Narongsak 様
カセサート大学人文学部日本語学科 4 年生の皆様
訪問人数 : 学生 11 名、教員 1 名、計 12 名

【調査目的】

タイの大学におけるキャンパスの雰囲気と文化を感じ、ナロンサック先生からの講義を通して、カセサート大学の歴史を学ぶ。

【調査結果】

9 月 15 日にカセサート大学に訪問し、ナロンサック先生と日本語専攻の学生にキャンパス内の学部棟などを案内していただいたとともに、カセサート大学における歴史をご講義していただいた。

カセサート大学は 1943 年 2 月 2 日に設立された、タイにおける最初の農業大学であり、3 番目に古い国立大学である。科学、芸術、社会学、人文学、教育学、工学、建築など多くの学部が設置されており、国内に 7 個のキャンパスがある。訪問したキャンパスは、中央大学多摩キャンパスの 3 倍ほどの広さを持つため、学生はバイク、車、電動スクーターで移動しており、また独自の制服があるのも特徴である。創立当初は農学専門の学校であり、農業分野の専門家を育てる役割を果たしていたが、その後多くの学部を持つ総合大学へと発展した。

タイのカセサート大学の日本語専攻の学生たちは、日本のアニメ、食文化などに魅了され、日本語の学習を始めていた。多くの学生が熱心に日本語を学び、中には日本への留学を検討している人もいる。卒業後の進路に関しては、日本語翻訳者や、日系企業など、日本とかわりのあるものを選ぶことが多い。

今回の大学訪問を通じて、私たちはカセサート大学のキャンパス文化を体験し、タイの大学生のライフスタイルを理解し、海外の学生とのつながりを得ることができました。今回私たちの訪問を受け入れてくださり、貴重なお時間を割いていただいたナロンサック先生及びカセサート大学日本語専攻の学生の皆様に心より感謝申し上げます。



(カセサート大学の学生と)



(大学構内にて)

(文責：魏鳴洋、伊東周平)